

各実証候補地点の評価

評価項目	福島市①	福島市②	郡山市①	郡山市②	浪江町
	上鳥渡地区	李平地区	熱海町・片平町	西田町	棚塩・請戸地区
① 用地の状況	×	×	×	×	○
② インフラの状況	△	×	○	△	△
③ システム間の距離	○	○	△	○	○
④ 費用	△	△	△	△	○

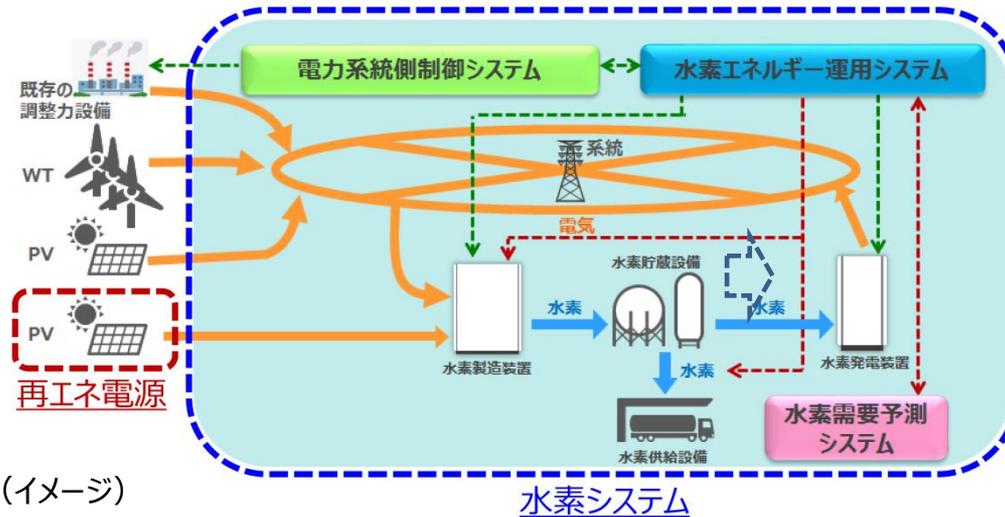
【評価の視点(再掲)】

項目	視点
① 用地の状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 水素システムに関し、平成30年央までの間で可能な限り早期に着工できること ○ 太陽光発電に関し、平成29年9月から設計開始できること 〔 面積、高低差、地盤強度、各種支障に係る技術的要件を満たす用地提供の準備が整っている、又は、その予算措置がなされ、具体的な目処がついていること 〕
② インフラの状況	○ 技術的要件を満たす道路、水道、電力が整備されている、又は、必要な時期までに整備される予定があること
③ システム間の距離	○ 水素システムと太陽光発電システムが可能な限り近いこと
④ 費用	○ 用地の確保・利用に要する費用が可能な限り低廉であること

プロジェクトの概要

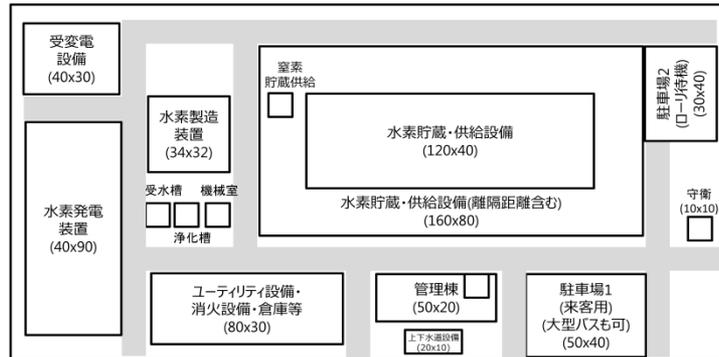
- 本事業は、再生可能エネルギーを用いて大規模に水素製造を行い、更に輸送・貯蔵技術と組み合わせ、水素を有効活用するためのシステムの構築について、福島県内において実証を行い、2020年までに運転を開始するもの。
- 現在、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)が公募した「水素社会構築技術開発事業／水素エネルギーシステム技術開発」の採択を受け、(株)東芝、東北電力(株)、岩谷産業(株)が事業を実施中。

イメージ



水素システムレイアウト (イメージ)

※ 再生可能エネルギー由来水素プロジェクト検討WG資料より引用



項目	仕様
機能	(1)水素製造・貯蔵・供給 (2)電力系統の需給バランス調整 (上げ・下げDemand Response)
年間水素製造能力 (定格)	900t-H ₂ /年
水素製造装置入力電力	(最大) 10MW (定格) 6MW (範囲) 1.5MW ~ 10MW
水素製造装置製造能力	(定格) 1200Nm ³ /時間